

様式6

「学校」部門

河川基金助成事業

「木曾川ラーニング」 報告書

助成番号：2024 - 7213 - 013

愛知県犬山市立楽田小学校

校長 古市 博之

2024 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2024-7213-013	木曾川ラーニング			犬山市立楽田小学校		
所在地	愛知県犬山市城山 9 7	対象河川名	木曾川・薬師川			
対象学年	小学生 (4年 73名/ 5年 77名/6年 79名)		主たる教科	社会科・理科 総合的な学習の時間		
河川教育の目標	犬山市は木曾川によってつくられた扇状地の扇頂に位置する。犬山城から見える木曾川は雄大な景色で、地理学的にも歴史的にも犬山と木曾川は切っても切れない関係にある。また、犬山市東部に位置する入鹿池は日本でも一二を争う大きさのため池で、治水や農業に大きく関連している。このような、木曾川や入鹿池の水利は、地域を支える基盤であり、これらを軸にした学習を深めることは、地域にとって非常に有意義な活動といえる。					
育成したい資質・能力	本実践は、地域教材の開発にある。社会科の中で低い土地の暮らしを学ぶ。理科の中で流れる水の働きを学ぶ。これらの学習のカリキュラム・マネジメントを行うことで、地域における木曾川や入鹿池を素材とした、実感のある学びを引き出すことができるであろう。川を軸に学習を深めることで、防災教育、地域歴史学習、環境教育を踏まえた、犬山の未来を考える学びを構築することを目指す。					
学習活動の内容と成果						
<p>① 川の流れに関連する資料として、犬山の地形のわかる資料（地形図や航空写真、ドローンによる空撮映像など）を収集することができた。</p> <p>② 犬山地区の環境に関する学びを深めるために、関連する施設（青塚古墳・小野洞川さ砂防公園等）との連携や、観察器具の整備を行うことができた。</p> <p>③ 市役所担当部局・ニワ里ネット等へ協力依頼ができ、連携を深めることができた。</p>						
学びの創意工夫点	本実践のポイントは、 <u>地域教材の開発</u> にある。ドローンの映像によるデジタル教材の開発や郷土資料の収集などに時間をかけている。また、 <u>持続可能な開発</u> もポイントとして大切にしている。働き方改革が叫ばれる中、実務担当者が変わるとなくなってしまうような無理な行事は実施していない。その上で、職員も前向きになれるようなカリキュラム展開を思案し続けている。					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	社会科の中で低い土地の暮らしを学ぶ。理科の中で流れる水の働きを学ぶ。これらの学習のカリキュラム・マネジメントを行うことで、地域における木曾川や入鹿池を素材とした、実感のある学びを引き出すことができた。川を軸に学習を深めることで、防災教育、地域歴史学習、環境教育を踏まえた、犬山の未来を考える学びを構築することができた。					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関、博物館、資料館等	関係団体（漁協、農協）等			企業	その他
支援の概要	地域や施設の解説					
成果発表	成果作品			発表方法		
今後の課題・展開						
地域素材をカリキュラムに取り組んだ学習を導入できた。本年度は、 <u>社会科と理科を中心に教科等横断的に学びを構築</u> できるよう教科の担当者と議論を重ね、 <u>カリキュラム・マネジメント</u> を行ってきた。主に実践推進者が理科中心の視点で、水の流れを追ってしまっているが、 <u>社会科にも適応される事案</u> も多くある。例えば、江戸時代五街道における東海道の海の七里は、5年生における洪水のことを学んでおけば、十分理解できる。このように、理科と社会科の学びを関連付けることで、 <u>地域素材に目を向ける</u> ことができた。だが、学年ごとの関連性で考えると、まだ不十分であると考えている。 <u>どの学年で、どのような学びを展開することが効果的なのか</u> 、本取り組みによって見えてきた課題を今後、研究し、改善を図りたい。						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

河川教育計画書【複数学年6年生】

1.助成事業名	木曽川ラーニング ～防災学習をベースにした理科と社会科の連結授業による学びづくり～	学校名	犬山市立楽田小学校	助成番号	2024-7213-013
2.河川教育の目標	川の成り立ちと人々の生活や歴史との関連に興味を持ち、関心を持って学ぶ				
3.育成したい資質・能力	自然に親しみ、見方考えを働かせながら、事象の特色や相互の関連を把握し、多角的に思考し、問題解決ができる力				
4.学年／人数	6年生 80人				

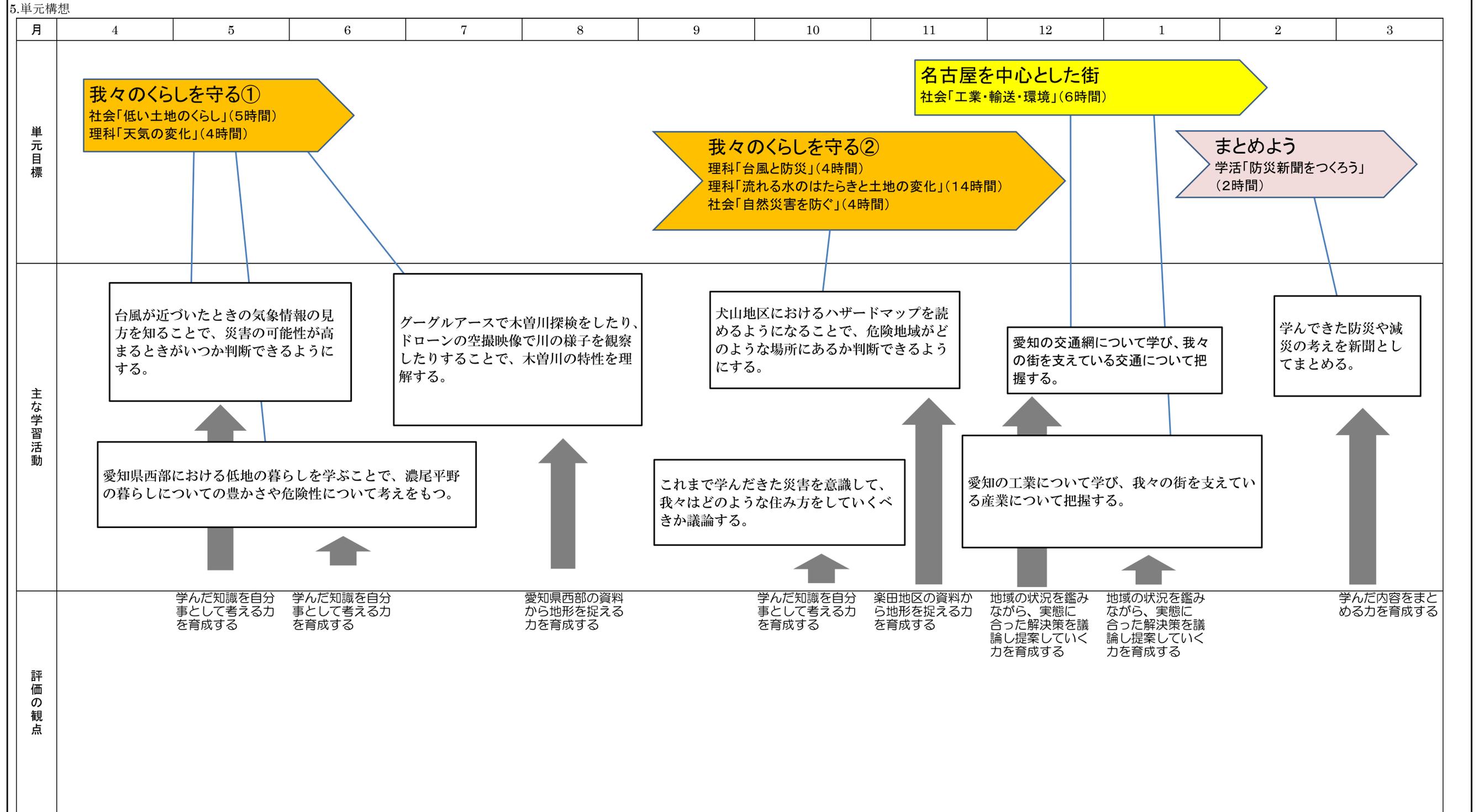
5.単元構想		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
単元目標	主な学習活動	評価の観点	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>誕生濃尾平野～楽田の始まり～ 社会「縄文の村から古墳の国へ」(7時間) 理科「土地のつくりと変化」(12時間)</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名古屋の誕生と街道</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>つくろう私たちの未来 総合的な学習の時間 「犬山版SDGsをつくろう」(6時間)</p> </div> </div>														
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>犬山における古墳（青塚古墳）が楽田地区にできた理由（古木曾川が氾濫しなかった場所が楽田地区）を知ること、祖先の想いを考察する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>GoogleEarthやYouTube（ドローンによる映像）によって地層や火山を観察することで土地が変化していることを学び、濃尾平野全体がどのようにできたのか考察する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>郷土の歴史（小牧長久手の戦い・中山道と東海道における犬山の地理的な役割・熱田と桑名間の七里の渡し・治水による天下普請）が木曾川と大きく関わっていることをイメージする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>犬山の未来を、防災の側面から考え、マニフェストをつくって市に提案しよう。</p> </div>														
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>木曾三川が西に向かって流れていることや、濃尾平野の多くが低地であることなど、これまで学んできたことを元に、どのような大地の変化があるのか考察する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教科書に載っている情報と我が町の情報を関連させて説明することができる力を育成する</p> </div>														

河川教育計画書【複数学年4年生】

1.助成事業名	木曽川ラーニング ～防災学習をベースにした理科と社会科の連結授業による学びづくり～	学校名	犬山市立楽田小学校	助成番号	2024-7213-013																																																				
2.河川教育の目標	水の流れに興味を持ち、関心を持って学ぶ																																																								
3.育成したい資質・能力	自然に親しみ、見方考えを働かせながら、事象の特色や相互の関連を把握できる力																																																								
4.学年／人数	4年生 74人																																																								
5.単元構想	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">月</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> <td style="width: 10%;">8</td> <td style="width: 10%;">9</td> <td style="width: 10%;">10</td> <td style="width: 10%;">11</td> <td style="width: 10%;">12</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">単元目標</td> <td colspan="12"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #FFD700; width: 30%; text-align: left;"> 我が町の自然災害① 社会「住みよいくらしをつくる」(11時間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #FFD700; width: 30%; text-align: left;"> 我が町の自然災害② 理科「雨水のゆくえ」(4時間) 社会「きょう土の伝統・文化を守る」(6時間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #D9EAD3; width: 30%; text-align: left;"> まとめよう 学活「防災新聞をつくる」 </div> </div> </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">主な学習活動</td> <td colspan="12"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 犬山市内の上空の映像、特に楽田小学校の上空の映像を観察することによって、水はどこから来て、どのように送られてきているのか考えをもつ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 地域の災害について学び、災害からくらしを守るために「自助・共助・公助」として何が出来るか話し合い活動を行う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 水は高いところから低いところに流れることを学び、犬山東部から南部地区の地形からどのように川が流れているか読み取る。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 「入鹿池をつくった人々」の話を知ること、入鹿池が決壊したときのことを知ること、郷土の災害について考えをもつ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 学んできた防災や減災の考えを新聞としてまとめる。 </div> </div> </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">評価の観点</td> <td colspan="12"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 20%;"> 自然に親しみ、見方考えを働かせながら工夫する力 </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ情報を活用して、自分の考えをもち、考えを述べる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 実験結果を基に、資料からの情報を考慮した予測を立てることのできる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ内容をまとめる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ内容をまとめる力を育成する </div> </div> </td> </tr> </table>					月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	単元目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #FFD700; width: 30%; text-align: left;"> 我が町の自然災害① 社会「住みよいくらしをつくる」(11時間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #FFD700; width: 30%; text-align: left;"> 我が町の自然災害② 理科「雨水のゆくえ」(4時間) 社会「きょう土の伝統・文化を守る」(6時間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #D9EAD3; width: 30%; text-align: left;"> まとめよう 学活「防災新聞をつくる」 </div> </div>												主な学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 犬山市内の上空の映像、特に楽田小学校の上空の映像を観察することによって、水はどこから来て、どのように送られてきているのか考えをもつ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 地域の災害について学び、災害からくらしを守るために「自助・共助・公助」として何が出来るか話し合い活動を行う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 水は高いところから低いところに流れることを学び、犬山東部から南部地区の地形からどのように川が流れているか読み取る。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 「入鹿池をつくった人々」の話を知ること、入鹿池が決壊したときのことを知ること、郷土の災害について考えをもつ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 学んできた防災や減災の考えを新聞としてまとめる。 </div> </div>												評価の観点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 20%;"> 自然に親しみ、見方考えを働かせながら工夫する力 </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ情報を活用して、自分の考えをもち、考えを述べる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 実験結果を基に、資料からの情報を考慮した予測を立てることのできる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ内容をまとめる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ内容をまとめる力を育成する </div> </div>											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																													
単元目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #FFD700; width: 30%; text-align: left;"> 我が町の自然災害① 社会「住みよいくらしをつくる」(11時間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #FFD700; width: 30%; text-align: left;"> 我が町の自然災害② 理科「雨水のゆくえ」(4時間) 社会「きょう土の伝統・文化を守る」(6時間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #D9EAD3; width: 30%; text-align: left;"> まとめよう 学活「防災新聞をつくる」 </div> </div>																																																								
主な学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 犬山市内の上空の映像、特に楽田小学校の上空の映像を観察することによって、水はどこから来て、どのように送られてきているのか考えをもつ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 地域の災害について学び、災害からくらしを守るために「自助・共助・公助」として何が出来るか話し合い活動を行う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 水は高いところから低いところに流れることを学び、犬山東部から南部地区の地形からどのように川が流れているか読み取る。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 「入鹿池をつくった人々」の話を知ること、入鹿池が決壊したときのことを知ること、郷土の災害について考えをもつ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 学んできた防災や減災の考えを新聞としてまとめる。 </div> </div>																																																								
評価の観点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 20%;"> 自然に親しみ、見方考えを働かせながら工夫する力 </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ情報を活用して、自分の考えをもち、考えを述べる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 実験結果を基に、資料からの情報を考慮した予測を立てることのできる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ内容をまとめる力を育成する </div> <div style="width: 20%;"> 学んだ内容をまとめる力を育成する </div> </div>																																																								

河川教育計画書【複数学年5年生】

1.助成事業名	木曽川ラーニング ～防災学習をベースにした理科と社会科の連結授業による学びづくり～	学校名	犬山市立楽田小学校	助成番号	2024-7213-013
2.河川教育の目標	川に興味を持ち、川の周りの環境と関連させながら学ぶ				
3.育成したい資質・能力	自然に親しみ、見方考えを働かせながら、事象の特色や相互の関連を把握し、問題解決ができる力				
4.学年／人数	6年生 80人				



河川教育 学習活動報告書【複数学年4年生】

1.助成事業名	木曾川ラーニング ～防災学習をベースにした理科と社会科の連結授業による学びづくり	学校名	犬山市立楽田小学校	助成番号	2024-7213-013
---------	---	-----	-----------	------	---------------

2.実際にいった単元構成
注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

学習活動の結果



楽田地区のドローンによる空撮映像



段ボールジオラマ

地域全体をイメージするためのドローン映像は大変有効であった。口々にすごいと身近な地域の空撮映像をくいるように観察した。
また、引き続き段ボールジオラマを活用しながら楽田地区周辺の水の流れを学んだ。子ども達は、教材の提示だけで、学ばせたい事項を口々に発表することができた。

我が町の自然災害①
社会「住みよいくらしをつくる」(11時間)
社会「自然災害からくらしを守る」(10時間)

我が町の自然災害②
理科「雨水のゆくえ」(4時間)
社会「きょう土の伝統・文化を守る」(6時間)



図書館につながる渡り廊下で学びの紹介

社会科と理科で学んだ見方・考え方を元に、本地区でおこった入鹿切れについて、考えを深めた。ニワリネットの望月さんによる、入鹿切れのお話を聞いたが、随所にどうしてここに水がためられるの？どこに流れるの？などといった発問をしていただくように依頼し、子ども達の理科的な見方・考え方にも迫れるようにした。
学校公開日に併せて、掲示物も作成し、保護者や地域の皆さんにも啓発活動を行い、明治元年におこった大災害ではあるが、しっかり伝承することとした。

楽田小学校は、地域の防災拠点であり、避難場所である。犬山市防災課の職員の話聞くことで、より実感の伴った理解になったようだ。人々が多く集うトイレ問題が発生する。マンホールトイレにより課題を解決することになっている。子ども達は、学校がこれだけの役割を持っていることを知って、驚いていた。

3.得られた成果
4年生のカリキュラムは、本年度主任が新担当者となったため、時期的な流れの見通しができておらず、調整がむづかかった。その影響で、実施時期が大幅にずれ込み、秋からの実施となった。しかし、地域の熱意により予定していたカリキュラムは実施することができた。児童は楽しく活動をし、学習も次年度につながる実践ができたと思う。特にNPOニワリネットの望月さんより入鹿切れのお話を聞くことができたのは児童にとっても深い学びとなった。
本活動の積み上げがあったからこそ実施できたことが成果と感じる。継続的な取り組みになっていくよう、計画書やコンセプトなども含む資料を丁寧に用意することが今後の課題といえる。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果
河川に関わる学習の流れとして、4年生の核になるテーマが“水の流れ”である。主に社会科としての要素が強いが、そこに理科も交えながら地域との関連性を導き出し、学習の流れを確立してきた。昨年度の反省で、理科との関連性を引き上げることを目指したが、授業実施者と話をすることで、繋がりが出てきた。児童の中で、災害が起きえる場所や水の流れがみえるようになってきている。地域の郷土史家の方のお話はわかりやすく、教員の意識も変容したようである。教師が学習内容を理解し、つなげることが実践の基本であることを改めて感じている。

河川教育 学習活動報告書【複数学年5年生】

1.助成事業名	木曽川ラーニング ～防災学習をベースにした理科と社会科の連結授業による学びづくり	学校名	犬山市立楽田小学校	助成番号	2024-7213-013
---------	---	-----	-----------	------	---------------

2.実際に行った単元構成
注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

学習活動の結果

我々の暮らしを守る①

社会「低い土地の暮らし」(5時間)
理科「天気の変化」(4時間)

社会科で学習する低地の暮らしで、治水の意味や排水ポンプの役割など、暮らしの中でどのような人の営みがあるか学ぶ。また、理科においても天気について学習をする。これらの学びをベースに流れる水の働きについて学習を深める。



我々の暮らしを守る②

理科「台風と防災」(4時間)
理科「流れる水のはたらきと土地の変化」(14時間)
社会「自然災害を防ぐ」(4時間)



これまで学んできた、学習が結びついたという顔を児童が多かった。大災害入鹿切れにまつわる教材を提供すると、ああ～そうだった、これは大変な災害だった、などとつぶやいた。災害についても、本地区は扇状地の高い位置にあるため、土砂崩れのほうが優先順位が高いと考えを深めることができた。流域治水の概念を伝えつつ、防災面からの考えを深めると、子ども達は上流から下流まで地域は川で繋がっていることを意識するようになった。

ドローンによる映像とグーグルアース、現地研修と出前授業を効果的に組み合わせることで、子供たちの学びは大変深いものとなった。実施後のアンケート調査を行うと、一番印象深かったのは、現地研修で、やはり実際に本物を観察することは大切であることを示している。



3.得られた成果

一番メインとなる木曽川の学習を核にして、学習を展開しているが、本年度は入鹿池から流れてくる薬師川にも注目し流域治水を学びのゴールに設定して実践した。4年生で入鹿切れの学習を積んできているので、本地区の高低差に関わる地形に関しては頭に入っている。だが、改めて楽田地区は木曽川に水が流れ込んでいるかと勘違いしている児童が多いため、庄内川水系であることを把握し直し、流域全体を視点で捉え直す学びを構築することができたのは成果と言える。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果

4年生で学習し的な学びが連続しており、理科的な見方・考え方と社会科的な見方・考え方ができる可能性のある単元であった。ただ、教材の準備に時間がかかるため、積み上げの大切さを改めて感じた。

河川教育 学習活動報告書【複数学年6年生】

1.助成事業名	木曾川ラーニング ～防災学習をベースにした理科と社会科の連結授業による学びづくり	学校名	犬山市立楽田小学校	助成番号	2024-7213-013
---------	---	-----	-----------	------	---------------

2.実際に行った単元構成
注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

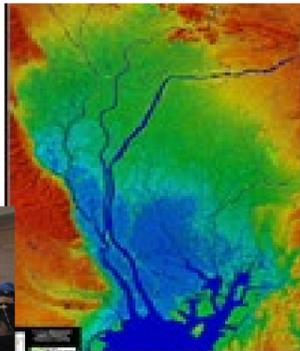
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

学習活動の結果

誕生濃尾平野～楽田の始まり～
社会「縄文の村から古墳の国へ」(7時間)

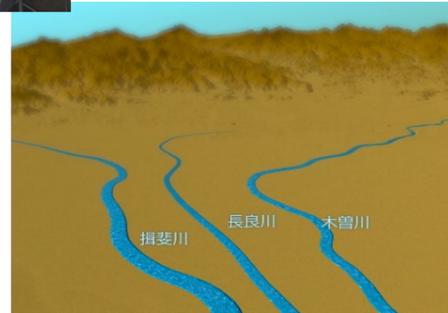
名古屋の誕生と街道

つくろう私たちの未来
総合的な学習の時間
「犬山版SDGsをつくろう」(6時間)



明治維新により鉄道が導入されることで、暮らしが大きく変わっていったことを、少しずつイメージできたようであった。

6年生では、歴史的背景から話をスタートさせた。住んでいる地元で大きな前方後円墳がある。この古墳から地元の成り立ちの話をスタートさせることで、身近な地名などが大きく歴史にかかわっていることを主体的に学ぶことができた。



土地の変化に着目すると、土地の変化により、住んでいる町ができていることを理解できる。濃尾平野ができ、扇状地の扇尖に当たる部分が犬山であり、台地に当たる部分の本宮山の麓が楽田地区であることがみえてくると、社会科と理科の連結によって、町の成り立ちのイメージがわいたようであった。



コメ作り、街道沿い、名古屋に近い立地の3点を考慮した街づくりをどのように進めたらよいか話し合った。すべて、木曾川の恵みによる観点であることを子供たちは十分理解していた。

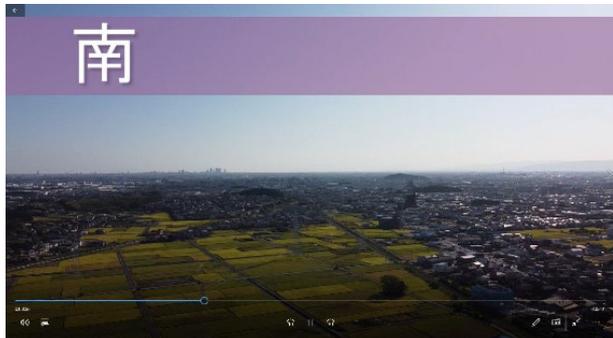
3.得られた成果	4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果
<p>昨年度、カリキュラム展開を大きく変えたが、本年度は見通しを持って、展開をすることができた。社会科と理科の学習内容が入れ替わり立ち替わり前後するので、全体像を把握していないとバラバラなプログラムになりがちであったが、教員内でよく話し合った結果、1年間を通してストーリーがぶれずに展開することができた。</p>	<p>木曾川が、地学的に見ても、歴史背景を支えていることがわかる。子供たちになぜこの地が栄えたのかを問うと、答えが返ってくる。小学生でも日々の生活と風景、情報があれば十分導き出せる答えであることが分かった。</p>

様式 14-3

〔学校部門〕 単学年・複数学年

〔見られたこどもの変容〕

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7213-013	木曾川ラーニング	犬山市立楽田小学校



学年：4年生

学習活動名：雨水のゆくえ（理科を中心に）

見られたこどもの変容：

水は高いところから低いところに流れる。理科学習として、校内の様々な場所から水を流し、流れていく場所を探った。意外と子どもたちはこの基本的な知識を体験から身につけていない。よって、実験などから実感を伴わせる必要があった。

次に、雨水のゆくえをタイムラプスカメラによって撮影した映像を活用して、観察を行った。雨水は運動場の南の方に流れていくが、その先の行方までは分からなかった。社会科で活用した学校周辺の様子わかるドローンを活用した映像を使って観察した。楽田小の南の方には田園が広がり、北や東の方は丘陵地になっている。この様子から、子どもたちは北の方から南の方に水が流れることを予想した。学校の東 200m ほどのところに薬師川という川が流れていて、上流は入鹿池まで繋がっている。Google アースを活用して水がどのように流れているのかを学ぶことができた。

学年：4年

学習活動名：自然災害からくらしを守る（社会科を中心に）

見られたこどもの変容：

ニワリネットの望月さんを講師として、入鹿切れについて、話をいただいた。江戸時代に灌漑用水と合わせてつくられた日本最大級の溜池であるが、明治時代の初めに大災害を起こしている。理科の学習と合わせて展開することで、災害の広がりや理科の見方・考え方を根拠に考えを深めることができた。

社会科の中でも自然災害について学ぶ。市役所の担当者に防災機関としての楽田小学校の役割を説明してもらい、実際に災害が起こったら、どのような雰囲気になるのか、確認を行った。防災トイレを実際に組み立ててもらい、中に入る体験も行った。



学年：5年
学習活動名：母なる木曾川
見られた子どもの変容：

グーグルアースによる木曾川探検を行った。実際の川の探検をすることは、時間的にも非常に負荷のかかる取り組みである。だが、仮想体験ではあるが、グーグルアースを活用すれば、河口から源流まで45分もあれば確認ができる。また、上流・中流・下流の様子の違いについても確認ができた。



流れる水の働きを検証するための流水実験を運動場で行った。土山に水を流すと流れる水の働きである浸食作用により、溝ができる。繰り返し実験をすることで、川の成り立ちを児童は理解することができた。ドローンで撮影した木曾川の上流・中流・下流の様子を映像で見せることで、木曾川の全体像を理解することができた。



市内に砂防公園がある。この公園は、砂防ダムの展示施設になっており、水の浸食作用から土地を守るためには、このような施設が必要であることを理解できた。県の職員には、事前に理科学習で学ぶこととなる「侵食運搬堆積」についてお知らせをし、「そのキーワードを使って施設を説明すると大変ありがたい」と打診もしておいた。子どもたちも「なるほど」とロタにつぶやきながら見学をしていた。これらの施設の重要性を理解できたようであった。

これらの学習を終了した後に、「安心安全な災害に強い町はどのようなにすればできるのだろうか」と投げかけ流域治水について考えを深めることとした。濃尾平野全体の高低差がわかるマップや犬山地区を中心とした高低差のある段ボールジオラマを活用して、東部丘陵地から西にかけての地形の確認をした。



段ボールマップを使って地形を丁寧に観察すると、低い土地や川沿いに高低差に変化がある場所などを子どもたちが自身自分が疑問を見つけ、人工の川や危険箇所など防災上ポイントとなるような箇所を見つけた。これらの疑問を生かしながら、「我々にできることはなんだろう」と話し合うことができた。



5年生のこの学習展開は、社会科と理科の教科等横断的な学びといえるが、4年生の雨水のゆくえとも、強く関連している。学習の積み上げが十分効いているため、児童から主体性を引き出すことは難しくはなかった。多くの子どもたちが昨年度、見方考え方を活用しながら、学びを深めていった。



学年：6年

学習活動名：楽田の始まり・つくろう私たちの未来

見られた子どもの変容：

社会科の時間の「古墳時代」の学習において、校区内にある青塚古墳を軸に学習を深めた。本地区は濃尾平野の開祖の地と言われる。扇状地にある犬山市は、昔から開けた場所であることを歴史の上で学ぶことは、地形に関心を持つことにつながった。青塚古墳に出かけたガイダンスセンターでレクチャーを受けながらけることができた実際に出かけたことで青塚古墳のスケール感の感じ取り楽田地区への愛着を高めたようである



楽田は濃尾平野の扇央の少し外れに位置しており、濃尾平野で一番高い本宮山の麓にある大縣神社が開祖の場所と言われている。濃尾傾動運動により沈降している濃尾平野だが、木曾三川の堆積作用により平野が拡大してきた。このような土地の変化も丁寧に解説をすれば、小学生でも充分理解できたと考えている。



このように古い時代より犬山は、濃尾平野の要となる土地であった。その犬山と名古屋を結ぶ街道沿いに町が発展した。しかし明治時代の産業革命により社会構造は大きく変わる。愛知における犬山の役割もずいぶん変わってしまった。これらのエッセンスを明治村に行くことで感じとることができたのではないかと考えている。

これらの知識をベースに、私たちの未来をどのようにつくっていくか、議論をして、考えを深め、6年間の学びの最後を締めくくった。



注1) 子どもの変容が分かる写真を掲載し、その変容が見られた学習活動名、見られたこどもの姿(変容)を記載してください。その際、できる限り子どもが発した言葉などを拾い上げてください。

注2) 全ての活動について載せる必要はありません。

様式 15

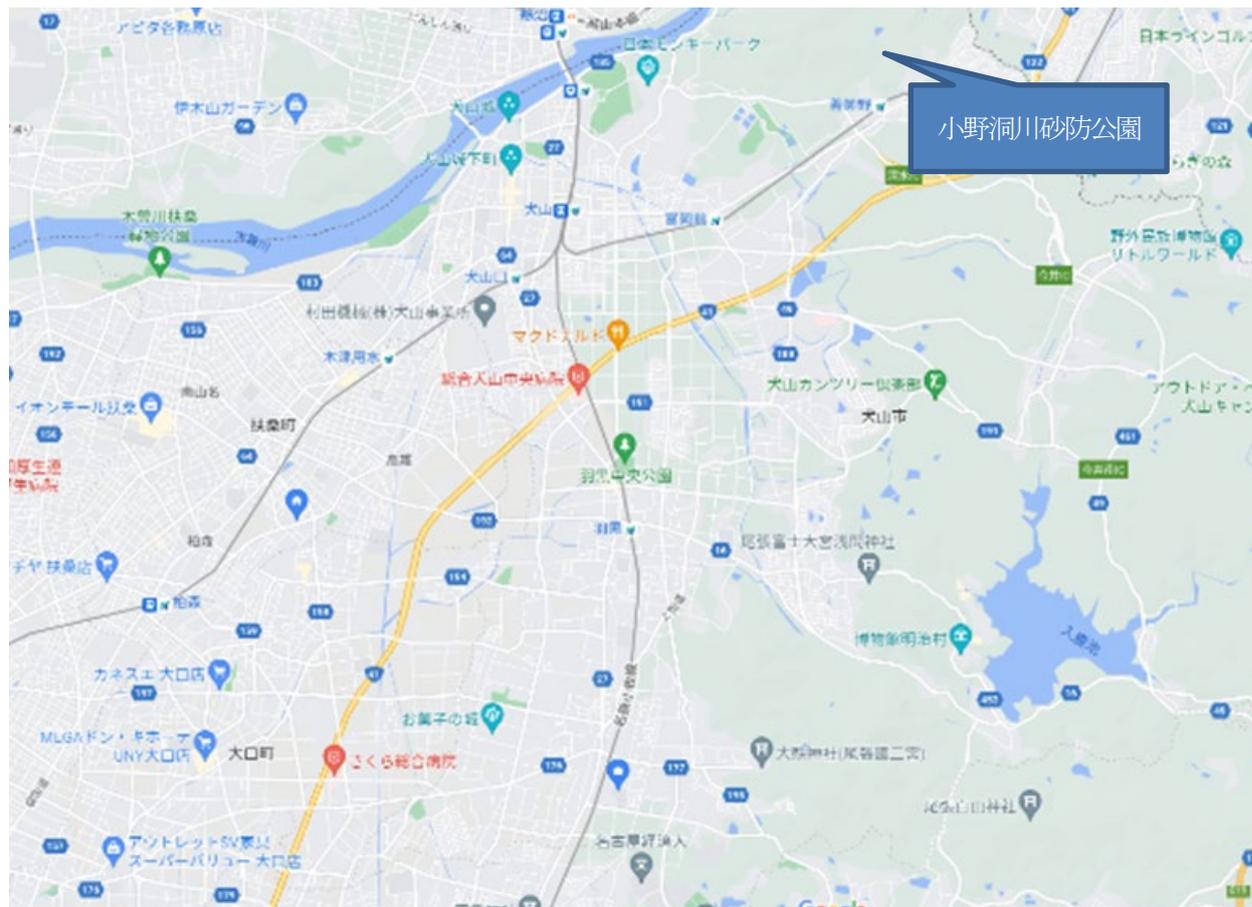
[学校部門]

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7213-013	木曽川ラーニング	犬山市立楽田小学校 古市 博之

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)



助成事業の主な実施箇所